

【日本鉄道大賞】

◎独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、
相模鉄道株式会社、東急電鉄株式会社

「新横浜線開業！つながる！相鉄線・東急線

～総延長約 250km におよぶ広域鉄道ネットワークの形成～

(選考理由)

コロナ禍による鉄道運営の困難の中でも着実に準備と建設作業が進められた結果、本年春のダイヤ改正から、相鉄・東急直通線が開業しました。そして、新横浜駅・新綱島駅の営業も開始されました。これは、建設を担う鉄道・運輸機構、営業主である相模鉄道・東急電鉄、そしてそれらと相互直通運転を行っている鉄道事業者の協力と尽力の賜物です。

特に、環状2号線・市営地下鉄直下に大規模な新横浜地下駅を設けたこと、狭隘地で新綱島駅を施工したこと、既存鉄道施設を有効活用するために営業を継続しつつ進めた日吉駅や東横線高架下工事を実現したことなど、最先端技術と細心の注意により進められた建設工事は、秀逸と認められます。また、東横線で6社、目黒線で5社局、計17種にわたる相互直通車両をもつという複雑な条件のもと、安全かつ安定的な運行を実現するため、綿密な調整と訓練が不可欠でした。こうした課題も乗り越え、7社局14路線の統合的な輸送ネットワークが実現したことは特筆すべきことです。さらに、新横浜駅での東海道新幹線との接続を考察したダイヤ上の工夫や、需要促進を図り認知度を向上するための努力も、令和時代の旅客目線の取り組みとして顕彰に値します。

これらの結果として、首都圏大ネットワークの重要な一部をなす広域の利便性の高い統合的列車運行が実現したことは、私達の都市生活の質向上に向けた明るい未来を示してくれるものです。

以上により、本事業を特に高く評価し、ここに日本鉄道大賞を授与します。

